

## “アメリカに渡って”

七飯中学校2年 宮田 ゆりか

「私も、アメリカに行きたい！」

初めてそう思ったのは、小学校6年生の時でした。姉がコンコードに行き、その時の、「思い出話」・「見たことのない（あたりまえ?!）景色の写真」を見て「私も絶対行く！」そう思いました。

中学生になって、その思いは一層強くなりました。選考会で、あまりにも人が多くて、「私なんて行けないんじゃないか？」と思いました。それでも自分の名前が呼ばれた時は耳を疑いましたが、「私なんだな」と思うととてもうれしかったです。

〈家に帰ってこのことを母に報告すると、「うそつかないで?!」といわれてしまいました↓↓〉

～そして、私の波乱万丈?ときには極楽?な体験が幕を開けました～

10月13日、期待と不安を胸に日本を飛び立ちました。初めての海外で、ワクワクしました。13時間・・・とにかく長い!!さらに、狭い座席・おいしくない機内食・・・気分は過去最悪?(大げさ?!)にまで落ちました↓↓しかし、私はまだまだあまかった・・・。

13時間を経て、着いたアメリカ。一息つく暇もなく向った先は〈入国審査〉順番を待つ間中ずっと菜津美とのんきにふざけあっていました。けれども、いざ順番が近づくと心臓はバクバクでいつか飛び出るんじゃないかと思いました。審査中泣きそうにもなりました。終わってからも緊張はなかなかほぐれませんでした。

ボストン空港に着き、そこからバスでコンコードカーライル高校(CCHS)へ行きました。着いたらホストファミリーと会う。そう思うと、ドキドキしました。(英語通じるかな・・・?)・(高校とか大丈夫かな?)・〈ホストファミリーの人達どんな人なのかな・・・〉そんなことを考えているとあっという間にCCHSにつきました。

1人ひとり名前が呼ばれて行き、自分の名前が呼ばれた時は、すごくドキッとしました。それから6日間お世話になるホストファミリーが紹介されました。「お父さん」・「お母さん」そして、〈Elizabeth〉と挨拶、握手を交わしホームステイが始まりました。



始めにたくさんおしゃべりしよう!とか積極的に話しかけよう!とか、考えてはいたけど、逆にElizabethに気を遣わせてしまいました。そして、いつも頭の隅に残っているのは、日本のこと。家に帰って、寝る前に必ず・・・日本時間を気にしていました。けれども、3、4日経つと向こうの生活にも慣れ始め、毎日が楽しくなりました。「明日は何があるのかな?」そんなことも考えるようになりました。そして何より、

Elizabeth と話す時間が増えました。残り 3 日～その日は、私と Elizabeth、葉津美、彩先輩の 4 人で「ランタン」をつくりました。初めてだったけど、すごく楽しくて「また、やりたい！！」そう思いました。

10月19日いよいよお別れの日となりました。はじめは、戸惑うことだらけで、（家に帰りたい・・・。）と思う日もありました。それでも、やっぱり最後には<帰りたくない>そう思いました。「また会おうね！」そう言って彼女は私をきつく抱きしめてくれました。いつか、必ず Elizabeth と再会したいです。

～こうして、6日間に及ぶ私のホームステイは終了しました。

Thank you very much～

それから、バスでボストンへ行きました。一番印象的だったのは「ボストン美術館」で、日本っぽい絵もあれば外国らしい？天使とかの絵がたくさんあって、とても印象的でした。印象的と言えば、美術館の前にあった子供の頭だけの像も印象に残っています。

そして、次の日の午後、いよいよ本当にボストン・コンコードとお別れです。これから、ニューヨーク（NY）へ向います。楽しみではあるけれど、少し寂しい気持ちもありました。

そして、ニューヨークに着きそこから2日間の市内観光が始まりました。2日間と言っても私の中ではあっという間でした。その中でもやっぱりニューヨークと言えば「自由の女神」。アメリカのシンボルとも呼ばれていますが・・・実際はそこまでビックではありませんでした。でもかっこいい、きれいだなと思いました。



こうして私の11日間という長い研修はいくつかの後悔、そして、沢山の経験・体験を残して幕を閉じました。あっという間に過ぎてしまったアメリカ渡航。本当に自分が行ってきたのか？いまでも何となく信じられません。それでも私は、行ってきた・・・沢山の人の支えられて。

本当にありがとうございました。今回の経験を活かしてこれからの七飯町に、貢献していきたいです。

自由の女神の前にて  
みんなで記念撮影